

建築 C A D 演習 (S A 専門科目)

=====

科目名：

建築 C A D 演習 (英文科目名 : ArchitecturalCADEXercises)

4 単位 必修 建築学専攻 2 年 通年 演習

担当教官：

尾立弘史 (居室 : 建築学科棟 2 階) Email:oryu@oyama-ct.ac.jp

川上勝弥 (居室 : 建築学科棟 1 階) Email:kawakatu@oyama-ct.ac.jp

授業目的：

- 1 , 2 次元 C A D の修得を前提とする。
- 2 , 3 次元 C A D や景観シュミレーション技法の習得
- 3 , 意志決定のためのプレゼンテーション技法の習得、
- 4 , 住宅の実施設計を前提にそのプロセスの中での C A D 利用を習得する。

達成目標：

- 1 , 3 次元 C A D でのモデリング、レンダリング技法の習得
- 2 , 実際の設計業務の中での利用方法の習得

教科書：

特になし

参考書：

C A D 操作マニュアル

学習方法：

予習-授業までに課題に対する作品を各自制作してくること

授業-C A D の操作方法は授業では行わない

持参した作品の講評と今後の課題を指摘する

住宅のエスキースを C A D で表現し , 全員でディスカッションする

復習-

学習保証時間：

200 (分週) × 30 (週年) = 6000 (分年) = 100 (時間年)

キーワード：

3 次元 C A D 、プレゼンテーション、景観シュミレーション

授業内容：

- 1、建築界における C A D の現状と課題 (1 週)
本講義の目的と進め方
- 2、C A D の操作概念、2 次元と 3 次元 (1 週)
- 3、有名建築の C A D による実体化演習 (3 週)
- 4、3 次元における立体造形演習 (3 週)
- 5、図形データベースの試作 (4 週)
- 6、住宅設計 (基本設計) (8 週)

7、住宅設計(設計図書作成)(10週)

授業方法：

敷地調査から最終図面までのすべての段階でCADやプレゼンテーションソフトによるゼミを行う。

カリキュラム中の位置づけ：

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

この科目と同時に学ぶ関連科目

この科目の後に学ぶ関連科目

評価方法：

定期試験は行わない。最終的な作品とプレゼンテーションにより評価する。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

microGDS や VECTORworks などを使用する予定であるが、受講者と相談の上決定する。準備できるパソコンとソフトには予算上の制約があるが、希望によりできるだけ多様なソフトに対応した授業としたい。

=====